

授業科目区分		科目名 [英文名]		単位	N	S
専門教育科目		スポーツ解剖学 1 [Functional Anatomy 1]		2		
授業形態		担当教員名			ナンバリング	
講義 アクティブ・ラーニング		荒川 崇			国	S-S2070
この授業に関係する資格						
健康運動実践指導者、GFI、アスレティックトレーナー、JATI-ATI						
学位授与方針（ディプロマポリシー）との関連						
○	豊かな人間性（広い視野、深い思考力）			○	健康づくりの実践的指導能力	
	食、栄養科学の専門的知識			○	健康生活の知識と技術の修得	
	健康管理の指導技術の修得			○	実社会に役立つ能力	
○	運動、スポーツ科学の専門的知識			○	社会に貢献できる実践力	
キーワード						
運動器 ・ 基礎解剖 ・ 運動						
授業の目的と概要						
健康・体力づくりの指導者として必要なスポーツ解剖学の基本（骨格、筋、関節構造）と各関節の機能について知識を身につける。						
学習の到達目標						
骨・関節・筋肉についてそれぞれの名称および機能を覚えることができる。						
回	テーマ		授業内容			AL
1	オリエンテーション・概論		本講座の学習内容・成績評価等に関する説明			
2	運動器の解剖と機能概論①		体表の区分・全身の骨格と筋の学習			
3	運動器の解剖と機能概論②		運動の表し方の学習			
4	運動器の解剖と機能概論③		運動器の構造と機能の学習			
5	運動器の解剖と機能概論④		関節の構造と機能の学習			
6	運動器の解剖と機能概論⑤		靱帯の構造と機能の学習			
7	運動器の解剖と機能概論⑥		筋・腱の構造と機能の学習			
8	運動器の解剖と機能概論⑦		骨格筋の神経支配の学習			
9	確認とまとめ		運動の表し方、運動器・関節・靱帯・筋・腱の構造と機能、骨格筋の神経支配についての復習			○
10	体幹の基礎解剖と運動①		脊柱、頸椎の運動の学習			
11	体幹の基礎解剖と運動②		胸椎と胸郭、腰椎、仙椎、骨盤の運動の学習			
12	上肢の基礎解剖と運動①		上肢帯、肩関節の運動の学習			
13	上肢の基礎解剖と運動②		肘関節、手関節の運動の学習			
14	下肢の基礎解剖と運動①		股関節、膝関節の運動の学習			
15	下肢の基礎解剖と運動②		膝関節、足関節・足部の関節の学習			
教科書及び参考図書						
教科書：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト2 運動器の解剖と機能 その他：教員作成資料						
準備学習・事後学習						
準備学習（週 2 時間）：毎回の講義終了時に次回の内容についてのプリントを配布するので事前に読んでおくこと。 事後学習（週 2 時間）：毎回の講義開始時に前回講義内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法						
前回の講義内容に関する小テストを実施し、解答の解説を行う。						
成績評価の方法・基準						
筆記試験 70% 課題提出 30%						
関連科目						
スポーツ解剖学 2						
受講上の注意						
アスレティックトレーナーを目指す学生は教科書を購入することが望ましい。						